



地域に根ざす医療

医療法人愛生会 くまもと温石病院の広報誌

おんじゃく

“ありがとう”と 希望を胸に



40周年記念号

私たちの理念

お互いの人生観を尊重し、人生をより豊かにします

私たちの運営方針

利用者第一主義の医療と福祉サービスを提供する事で、国と地域社会に貢献します

理事長・院長 挨拶



医療法人愛生会
理事長 村井 映

私たち愛生会の40周年は、コロナ禍の中で迎えました。世界中でいまだ感染収束の兆しは見え、県下でも持続的に新規感染者の報告が続いています。

私たちも地域医療貢献の観点から、発熱者外来の開設、時間外電話相談の受け付けなど、新しい取り組みを始めました。

新型コロナウイルス感染症の特徴は、感染しても発症しないいわゆる「無症候性キャリア」が多く存在していることです。自分も気づかないうちに感染していたり、誰かに気づかないうちに感染させたりしている可能性があります。「自分は正しい」「自分は陰性だ」などと盲信し、他者を断罪したり非難したりすることは慎まねばなりません。そもそも私たちの生きる社会は、0か1か、プラスかマイナスかでは割り切れない、多くのグレーゾーンを含んでいるはずです。また、当院にも環境整備や給食などのために「エッセンシャルワーカー」と呼ぶべき多くの方が働いています。普段は日の当たらない「縁の下の力持ち」のみなさんに、この機会に感謝を捧げたいと思います。

パンデミック、人工知能、ロボット開発などは仕事のあり方を大きく変えるだろうと言われていますが、人の手を介する仕事、看護介護、リハビリ、臨床検査などの仕事はこれまでもこれからも、変わらず必要とされます。安心して仕事に取り組んで頂けたらと思います。大切なものを守れることを忘れず、変化に対応することを恐れず、ともに次の40年を作っていきましょう。

2020/11/11



くまもと温石病院の あゆみ

1980年（昭和55年）



- ・ルービックキューブ
- ・「ポカリスエット」発売
- ・「ウォシュレット」発売



「おしりだって洗ってほしい」が流行語に

1980



温石山を造成



無医地区であった中央町に
「中央町温石病院」として開院する。
(一般病床 32 床でスタート)
(理事長 村井重愛)



1981年～

- ・ガリガリ君発売
- ・TV小説「おしん」
- ・ファミコン ・ワープロ



1981

1981年 一般病床 104床
1983年（S58） 一般病床 155床
1984年 全床を特例許可老人病棟へ転換

1988

1988年（S63）リハビリ棟完成



昭和64年1月
昭和天皇崩御にて
平成が始まる

1989

1990年（平成2年）

- ・ポケベルが大ヒット
- ・雲仙普賢岳噴火
- ・東西ドイツ統一



1990

創立10周年



ホワイトパレス

1999年（平成11年）

- ・だんご三兄弟
- ・ノストラダムスの大予言
- ・2000年問題



1999

2000年（平成12年）

- ・小淵首相が倒れ森連立内閣発足
- ・シドニー五輪 高橋尚子金メダル
- ・新500円硬貨発行

2000

創立20周年



ニュースカイホテル

介護保険制度開始（新館病棟竣工）
介護療養型医療施設 51床
地域リハビリテーションセンター
「おんじゃく」開設
本館病棟全面リフォーム



2001

9.11
アメリカ同時多発テロ



2004年（平成16年）
平成の大合併にて
中央町と砥用町が合併
「美里町誕生」



ディープインパクト
無敗3冠

（平成18年）トリノ冬季オリンピッ
ック
イナバウアーで金



日本航空経営破綻
小惑星探査機「はやぶさ」帰還

“くまモン”誕生

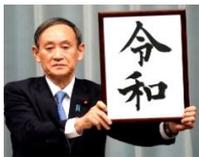


東京スカイツリー開業
山中伸弥 京大教授にノーベル賞
消費税5%→8%へ引き上げ

熊本地震（2016）
震度7：2回 震度6強：2回
震度6弱：3回 震度5強：5回



	死者	重傷	軽傷
人的被害	273人 <small>※関連死を含む</small>	1203人	1606人
	全壊	半壊	一部損壊
住宅被害	8667棟	34719棟	163500棟



皇室典範特例法により、明仁天皇が上皇となり徳仁親王が126代天皇となり“令和”が始まる

コロナ禍（新型コロナウイルス COVID-19）世界的大流行 人々の生活様式変化

東京オリンピック開催延期
新型コロナウイルスいまだ収束見えず

2004



4月 病院名「くまもと温石病院」へ変更
8月 医療療養病棟（51床）を
障害者施設等一般病棟へ

2005

2006

2007

7月 医療療養病棟の22床を
回復期リハビリテーション病棟へ転換

2010

創立30周年



ニューオータニ熊本

2011

2011 コミュニティハウスおんじゃく法人に合併

2012



H25サービス付き高齢者
向け住宅「木香館」開館
デイケアセンターも移動

2016

2014 回復期リハ病棟を療養型に転換

2016

医療法人愛生会 理事長 村井 映 就任
5月 熊本地震「木香館」被害甚大
本館は少ない被害で済む。
幸い患者・職員人的被害無し



2019

創立40周年

2020

「介護療養型医療施設」を「介護医療院」へ転換
コロナ禍にて面会全面禁止が続く。
マスク不足等の影響が出る。
院内行事すべて中止。
11月 発熱外来運用開始

わたしとおんじゃく



くまもと温石病院 40 周年おめでとうございます。リハビリテーション科 PT の木村です。

私は、29 年前、0 歳～3 年間「くるみ保育室」に園児として通っていました（母がナース）。当時はその後、スタッフとして働くなど、夢にも思ってなかったと思います。幼き頃の少ない記憶が「くまもと温石病院」への道を開いたのかもしれませんが。くるみ保育室での思い出としては、院内外をお散歩がてら遊びに行った時、明るく、笑顔の人がたくさんいるなと思っていた事、また、受付の方や薬局の方からお菓子を頂いた事を今でも鮮明に覚えています（笑）。そして入職してからまず驚いた事としては、小さい頃に見た人が何人もいる！！と思った事です。

昔も今も変わらず、笑顔で明るく仕事をしている姿が印象的です。これからも患者さんに優しく、温かい病院を作っていけたらと思っています。

わたしとおんじゃく あれから 40 年



青春時代から多くを過ごした思い出がいっぱいの職場です。職員旅行や敬老会の舞台に立ったのも良い思い出です。時代と共に変化し、自分も対応できるよう頑張れた場所です。これからも、一日一日元気で楽しく人生を送りたいです。今後の「温石病院」の発展をお祈りします。 たかこ

介護保険制度が始まり、手探り状態で保険請求して、入金された時の達成感は忘れません。仕事の経験のほとんどを「温石病院」で働かせてもらい本当に感謝しています。これからも地域に密着した心あたたかな病院であってほしいです。 まちこ

昭和 55 年、私達 3 人は 22 歳・23 歳で入職しました。一期生が約 50 名いましたが、当時からの職員はもう 3 人だけとなりました。（3 人とも定年再雇用（笑））開院前、当直だけ勤務したり、開院が延びたり、思い起こせば、「苦しかった事」より「楽しかった事」のほうが多いような。懐かしい記憶・・・思い出せないことも多々あります。40 年間を一気に思い出すには、記憶の欠片を少し整理する「時間」が必要のようです。これから、あと数年、大好きな「おんじゃく」で励みたいと思います えいいち

「おんじゃく」の未来像「わたしたち」の未来像

『予測』視点

- 今まで以上に地域から信頼される医療・サービスを提供している。
- アナログからデジタルへの移行の加速。

若いスタッフが増え、ベテランズとの融合で活気がでる！

温故知新の気持ちで仕事をし続けている職場！

結婚、出産、育児、介護など私生活と両立できる職場に！

『望む』視点

- 今まで以上に“若い職員”に入ってきてもらいたい！
- 一人一人が自分の意見を気兼ねなく発信(発言)出来る活気あふれる職場。

10年後も「この職業が好き」「この仕事が天職」と思えるような職場環境・病院になって欲しい。

これからも“たくさんの桜”を見続けたい！

「この病院に入院してよかった…」と、患者さんやその家族に寄り添えるスタッフ・温石病院になって欲しい。

働く私たち、患者さん両方が通いたくなる病院を目指す。

仕事と家庭の両立が出来るように、ワークライフバランスのしっかり整った温石病院になってくれると最高です!!

『目指す』視点

- 現状維持ではなく現状打破の意欲を持ち続ける。
- 常に周りに感謝することを忘れず仕事を行う。
- できないところ以上に出来るところを発見する。

資格を取得し、考え方や患者様のことをもっと快適に介護を出来るようになる。

子どもが誇らしく思ってくれるような母になる。

私とおんじゃく われら同級生

創立 40 周年 おめでとう
ございます。

昭和55年、私が生まれた時
から、いつも「R218」を通
るたびに見ていた「温石病院」、
ずっと地域の私達を見守って
くれていたのだと思います。

今後、私もこの病院の一員と
して微力ながら、少しでもお役
に立てるように励んでいきたく
と思います。これからもよろ
しくお願いします。

田代 恵理



1980年生まれ

40周年という大切な節目を
一緒にお祝いでき、とてもうれ
しく思います。

私は入職して3年がたちま
した。入職前ハローワークにて
求人票を手にした時に自分と
同い年だと気づき、勝手に親
近感を抱いたのをついこの前
のように思い出されます。

今後も愛される病院として
発展し、さらに10年後のお祝
いが出来るよう共に成長して
いけたらと思いますのでよろ
しくお願いいたします。

栗林 伴子

在宅サービス

- デイケア（通所リハビリテーション）
- デイサービス（通所介護）とも、コロナ禍でも感染対策を徹底して営業しています。

☎0964-46-3001

サービス付き高齢者向け住宅 **木香館**



併設：デイケア

☎0964-48-7005

有料老人ホーム
コミュニティハウス **おんじゃく**



併設：
デイサービス

実践 スマートライフ

感染を防ぎ、新たな日常を生きるために

- 1 密集・密接・密室を避ける
- 2 安全な距離を保つ
- 3 こまめに手を洗う
- 4 室内換気と咳エチケット
- 5 接触確認アプリをインストール

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室

【県民の皆様をお願いすること】

1 手洗いで
ウイルスと
不安を
洗い流そう！

手洗いモン
#WashHands

こまめな手洗いが何よりも大切です。

2 **三密を
避けましょう**

くっつかないモン
#KeepDistance

物理的に離れることが、
相手を思いやり、
大切にすることになり、
心と心の距離を近づけます。
三密を避けて、家族や友人を大切に。

3 換気で
ウイルスを
吹き飛ばそう

換気をするモン
#OpenWindow

換気をすることで、
さわやかな空気を取り入れ、
ウイルスは吹き飛ばしましょう。

4 だれだって
いつだって
感染しうから、

思いやりの
咳エチケット

人を想って
やさしさが
いい明日を
つくる。

差別は
許されない

「新しい生活様式」を身につけ、自分や大切な人の命を守りましょう！

サリバチェッカー 唾液がんリスク スクリーニング検査 当院で受けられます！

1度に複数のがんのリスクがわかる



はじめよう、唾液がんリスク検査

check!

- check 1 家族にがんの人がいる
- check 2 検査を受けるのが面倒
- check 3 痛い検査は苦手だ
- check 4 身体のおちこちの不調が気になる
- check 5 たばこを吸う、副流煙が気になる
- check 6 便に血が混じる
- check 7 糖尿病だ、最近糖尿病が悪化した

くまもと温石病院
☎ (0964) 46-3000
担当：本田（臨床検査室）

・慶應大学先端生命科学研究所が開発した、唾液中の微量タンパクによる**新しい癌の診断法**です

・検査費用 25,000円/回(税抜)

※この検査は新しい検査法のため、健康保険は適用されておりません。自費となりますので、ご了承ください。

<http://www.iab.keio.ac.jp/>

<https://www.salivatech.co.jp/>

確かな臨床研究



SalivaChecker®の唾液がんリスク検査技術の基礎となった研究は、多くの論文が国際的な学術誌に掲載されています。

がん早期発見の可能性

症状が出にくい**唾液がんも早期発見できる可能性**があります。もしがんになっても、早期発見ができれば治療の負担も少なく、家族も安心です。

痛くない

数滴の唾液を採取するだけなので、**体に負担をかけません**。血液検査が苦手な方でも安心して受けていただけます。

《 診療科目 》 内科 ・ 呼吸器内科 ・ 消化器内科 ・ 循環器内科 ・ 脳神経内科
整形外科 ・ リハビリテーション科

受付時間 午前 8:30～12:00 午後 13:30～16:30
診療時間 午前 9:00～12:30 午後 13:30～17:00

外来診療担当表

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土
内科 (午前)	村井	松永	藤本	村井	松永	松永
	平島	藤本	大園	大園	平島	村井
(午後)	藤本	平島	大園	大園	平島	
整形外科 (午前)		藤本昭				

村井：循環器内科、外科、フットケア外来、睡眠の質外来

松永：脳神経内科、リハビリテーション、手足のしびれ外来、てんかん外来、神経難病外来

藤本：呼吸器内科、老年病内科

大園：消化器内科（上部消化管内視鏡、腹部エコー）

平島：一般内科（免疫アレルギー、認知機能障害）

藤本昭：整形外科

下益城郡医師会 東部地区 2020年～2021年 日曜当番医 担当医 村井 映 院長
・12月27日 ・1月31日 ・3月7日

熊本県下益城郡美里町中小路 835
医療法人 愛生会 くまもと温石病院
TEL 0964-46-3000(代)
FAX 0964-46-2464
ホームページもご覧ください。



発行者 くまもと温石病院 広報委員会

編集後記

久々の広報誌。「40周年記念号」

色々な波を乗り越えてきた「温石病院」。思い出は楽しい事ばかりじゃなかったけれど！常に前向きに考え40年… コロナ禍の中、息苦しさ、先の見えない不安感、そんな中でも前を向き、これからも皆さんの笑顔の為に「おんじゃく」は進みます うえだ